

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金活用事業効果検証結果

1 環境SDGs おおがき推進事業（令和4年度から開始）

(1) 基本事項

担当所属	環境衛生課		
総合戦略	基本目標	4	広域連携による魅力あるまちづくり
施策体系	基本施策	(1)	つながり、支えあえる地域づくり
(該当箇所)	具体的方策	②	互いの魅力を生かした人の流れの創生

(2) 事業内容

事業内容	環境SDGsの単なる周知・啓発に留まらず、全世代へ環境SDGsの輪を広めるとともに、市民等の自発的な取り組みを促すため、SDGsを共に学び・考え・行動するための効果的なイベント等を市民・市内事業者と協働で実施した。			
事業主体	大垣市、大垣市環境市民フェスティバル実行委員会			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
予算額	16,200,000円			
決算額	16,199,910円			
交付金額	8,000,000円（交付対象経費の1/2）			

※ 予算額・決算額・交付金額は、令和5年度の金額を記載。（決算額は見込額）

(3) 事業の成果等

	No.	指標名	基準値	目標値 (R5)	実績値 (R5)
重要業績 評価指標 (KPI)	1	事業を通じたSDGsの取り組みの提案件数	—	3件	5件
	2	事業への参加人数	—	2,500人	5,792人
	3	事業を通じた環境SDGs推進人材の養成人数	—	10人	7人
事業効果	地方創生に効果的であった（一部目標以上を達成）				
事業の評価	SDGsを共に学び・考え・行動するための効果的なイベント等を市民・市内事業者と協働で実施することができており、事業を通じたSDGsの取り組みの提案件数及び事業への参加人数は目標以上を達成している。引き続き、市民・市内事業者が、市のことを自分ごととして捉え、自ら考え・行動するためのきっかけとなるよう、本事業を広く効果的に展開し、地方創生に向けた持続可能なまちづくりの基盤となる「人材の確保・育成」を図る。				